

平成30年度

# 事業報告書

自 平成30年4月 1日  
至 平成31年3月31日



社会福祉法人 千葉県共同募金会



## 総括概要

千葉県における赤い羽根共同募金は、平成7年度をピークに減少傾向が続き非常に厳しい状況だが、平成30年度は、市町村支会等との連携を深めながら、この傾向に少しでも歯止めをかけ増額につながるよう「70年答申」<sup>1</sup>に基づく取り組みを推進するとともに以下の4項目を重点に事業を実施した。

- 1 共同募金への理解と参加の促進
- 2 共同募金会の機能強化
- 3 企業・スポーツチームとの連携強化
- 4 新たな募金手法の開拓

多くの県民の皆様や企業、関係団体等にご理解とご協力をいただいた結果、募金総額は6億4,001万7,623円となり、前年度実績に比し1,621万8,170円の減額(2.5%の減少)だった。これに平成29年度助成の戻入金やNHK歳末たすけあい振替資金等を合わせた6億6,824万8,844円を財源として、地域からの孤立防止をはじめ、支援を必要とする障がい者や高齢者、子どもたちのために活動している施設・団体等に対し助成を行った。

また、大阪北部地震、西日本豪雨災害、北海道胆振東部地震など大規模災害の発生に対し広く県内から義援金の募集を行うとともに、県共同募金会の災害準備金を取り崩し被災地支援を行った。

その事業内容について以下のとおり報告する。

### I 共同募金運動の推進

平成30年度の共同募金運動は、厚生労働省告示にもとづき平成30年10月1日から翌年3月31日までの6か月間にわたり実施した。募金目標額及び助成計画については、配分委員会(7月2日)で承認の後、第227回理事会(7月20日)及び第204回評議員会(7月27日)において正式決定された。

共同募金の実績				単位：円	
区分	平成30年度	平成29年度	増減	前年度比(%)	
一般募金	406,758,871	420,534,176	△13,775,305	△3.3	
市町村歳末たすけあい	211,462,247	216,701,414	△5,239,167	△2.4	
NHK歳末たすけあい	21,796,505	19,000,203	2,796,302	14.7	
合計	640,017,623	656,235,793	△16,218,170	△2.5	
目標額	700,000,000	740,000,000			
達成率	91.4%	88.7%			

<sup>1</sup> 70年答申：中央共同募金会が外部有識者による企画・推進委員会を平成26年に設置し、平成28年度に運動創設70年を迎えるにあたり、共同募金運動のあり方や地域福祉における共同募金の役割等について検討し平成28年2月に出された答申 正式題名「参加と協働による『新たな助け合い』の創造～共同募金における運動性の再生～」

### (1) 戸別募金

共同募金が地域に還元されていることを分かりやすく住民に伝える自治会・町内会向けのチラシや活動報告書等を作成し、市町村支会と社協が一体となった募金活動を展開した。

### (2) 街頭募金

駅や大規模商業施設等でボランティアの協力を得ながら募金活動を実施した。特に若い世代を中心に募金の文化を広め、継承させるため、学校など通して、児童、生徒、学生の募金ボランティアとしての参加協力に努めた。

### (3) 学校募金

- ① 教育関係団体(千葉県教育委員会、千葉市教育委員会、千葉県小学校長会、千葉県中学校長会、千葉県高等学校長協会、千葉県私学教育振興財団、千葉県教職員組合、千葉市教職員組合)の後援をいただき、県下の幼稚園、保育所、小学校、中学校、高等学校、大学、特別支援学校等において「赤い羽根をつける運動」を実施した。
- ② 募金が社会にどのように役立っているかについて理解を進めるため壁新聞(A3判)、子供向けパンフレットを全学級に配布した。
- ③ 福祉教育に力を入れている社協と連携し、学校を通じて子どもに赤い羽根共同募金の浸透を図った。

### (4) 法人・職域募金

- ① 県共募、各支会から企業や団体へチラシや啓発資材などDMを送付するほか、直接訪問して協力を依頼した。
- ② 県共募では、県・県関係団体・県域団体・企業等に法人・職域募金の協力依頼を行った。支会では、市町村を中心に市町村関係団体・市町村域団体・企業等への法人・職域募金の協力依頼を行った。

### (5) スポーツチームとの協働による募金

各スポーツチームの地元支会と協力して以下のとおり募金活動を行った。



ジェフユナイテッド市原・千葉



千葉ジェッツふなばし



千葉ロッテマリーンズ



オービックシーガルズ

- ① プロ野球「千葉ロッテマリーンズ」と協働し、選手の写真入りポスターを作成し、各支会・金融機関等に配布した。9月17日のイースタンリーグ対北海道日本ハム戦の試合会場(浦安市運動公園 野球場)において、共同募金の啓発活動を行った。
- ② サッカーJリーグ「ジェフユナイテッド市原・千葉」に赤い羽根サポーター宣言をしていただくとともにマスコット「ジェフィ」の写真入りポスターを作成し、各支会・金融機関等に配布した。11月4日の公式戦会場(フクダ電子アリーナ)において、清武選手と乾選手に御協力をいただき募金活動を行った。
- ③ バスケットボールBリーグ「千葉ジェッツふなばし」に赤い羽根サポーター宣言をしていただくとともに、選手の写真入りポスターを作成し、各支会・金融機関等に配布した。また、船橋アリーナと千葉ポートアリーナでの公式戦会場において募金活動を行った。
- ④ フットサルFリーグ「バルドラール浦安」に赤い羽根サポーター宣言をしていただくとともに、12月22日のFリーグ選抜との試合(浦安総合体育館)前に永島・染野選手のチャリティーサイン会を実施し募金活動を行った。
- ⑤ アメリカンフットボールXリーグ「オービックシーガルズ」と協働し、選手の写真入りオリジナルポスターを作成し、各支会・金融機関等に配布した。8月26日の公式戦会場(秋津サッカー場)で募金活動を行った。

#### (6) イベントでの募金

日付	場所	項目
8月31日 ～9月2日	幕張メッセ	初音ミクのイベント「マジカルミライ 2018」に、北海道共同募金会のご協力をいただき、共同募金のブースを設置し啓発活動を行った。
10月20日	新京成車庫	新京成電鉄イベント「新京成サンクスフェスタ 2018 in くぬぎ山」で会場内に共同募金ブースを設置し募金活動を行った。新京成電鉄のグッズの売り上げがチャリティーとして全額寄付された。
10月21日	木更津市内	アクアラインマラソンに県共同募金会ブースを出展し募金活動を実施した。
10月23日	成田市内	第36回全国社会福祉軟式野球大会千葉大会前夜祭会場及び25日の試合会場で募金活動を実施した。
12月8日	イトーヨーカドー津田沼店	新京成、聖徳大学共催のクリスマスチャリティーコンサートでNHK歳末募金活動を実施した。
12月20日	千葉県文化会館	NHK千葉放送局開局75周年「新・BSのうた」公開収録において日本赤十字社とNHK歳末たすけあい・海外たすけあい募金活動を実施した。
12月25日	NHK千葉放送局	NHK千葉放送局においてランチタイムクリスマスコンサートで募金活動を実施した

## (7) その他募金

- ① 赤い羽根協力店舗や行政機関等で通年または募金期間中に募金箱設置等の協力があつた。イオン株式会社「イオン赤い羽根募金」(10月)では従業員や来客者から街頭募金を含む募金協力があつた。(計35店551,644円、イオンタワー302,234円)
- ② 助成先団体が主催する講演会や地域行事等に募金ブースを設け参加した。
- ③ 清涼飲料を購入すると一定額が募金となる寄付金付き清涼飲料水自販機の設置を推進した。(計32台579,669円)
- ④ 中央共同募金会と連携し、日本ケロッグ「Breakfast For Better Days」プロジェクトにおけるシリアルの商品寄付をいただき、支会を通じて地域の高齢者支援団体や高齢者サークルなどにシリアルと栄養知識を提供した。(計44件941,832円)
- ⑤ 中央共同募金会の「ふるさとサポート募金」による協力があつた。(計50件417,000円)
- ⑥ 中央共同募金会を通じて、企業からの寄付金を受け入れた。(計26件1,213,095円)



## II 広報活動の充実

県民の理解と共感が得られる共同募金運動とするため、関係機関や団体の協力を得て、次のとおり広報活動を展開した。

### 1 全般的取組

広報・資材・募金活動・助成事業等のあらゆる機会を通じ、共同募金の目的、また、募金から助成・成果までの流れを分かりやすく具体的に伝え、住民の理解を得るよう努めた。特に、共同募金の多くが地域に還元され、地域福祉の推進に貢献していることを住民に分かりやすく伝えるよう努めた。

### 2 共同募金運動発足行事

平成30年度共同募金運動開始の10月1日に「そごう千葉店入り口前広場」において、千葉県知事(代理:健康福祉部次長)、千葉市長(代理:保健福祉局長)、千葉県社会福祉協議会会長(代理:常務理事)、千葉市支会関係者、街頭募金奉仕団体、ANA客室乗務員、ポートクイーン千葉等約50名が参加して発足式を実施した。また、県内各地で市町村支会が主催して発足行事を実施した。



### 3 計画公告・結果公告

本会定款第 39 条の規定により千葉日報に募金開始及び実施結果の公告を行った。  
(募金開始：平成 30 年 10 月 1 日、実施結果：平成 31 年 4 月 25 日)

### 4 報道機関への情報提供

- ① NHK 千葉放送局、千葉テレビ放送、ベイエフエムに対し、中央共同募金会制作のテレビ用放映素材及びラジオ用放送素材を提供して広報キャンペーンの協力要請をした。また、千葉県を通じて千葉テレビ、ベイエフエムにテーマ選択募金の CM を依頼した。
- ② 県内報道機関（放送局及び新聞各社）に対し、共同募金及び災害義援金の募集等に係る情報を提供した。

### 5 インターネットの活用

- ① 中央共同募金会の情報提供システム、赤い羽根データベース「はねっと」(<https://hanett.akaihane.or.jp/hanett/pub/home.do>) を活用し、募金の詳細な使いみちについて情報提供した。
- ② 県共募ホームページ (<https://www.akaihane-chiba.jp/>) に募金・助成等の共同募金に係る基本的な情報のほか、助成申請・災害支援・イベント情報等について情報提供した。
- ③ フェイスブック「赤い羽根ちば」(<https://www.facebook.com/akaihane-chiba/>) を使い、各種イベントの告知や情報発信に努めた。また、支会の実施するイベント情報を PR した。

### 6 募金資材・広報資材の作成・活用

- ① 募金の結果や使いみちなどを掲載したチラシを作成し、戸別募金、法人・職域募金等で活用した。NHK 歳末チラシを作成して職域募金等で積極的に活用した。
- ② 子ども達に学校募金の使いみちが分かるよう、壁新聞 (B2 判) を小・中・高等学校に配布するほか、キャラクター募金箱・壁新聞 (A3 判) を全学級に配布した。
- ③ 人気商業用キャラクターとコラボした資材を活用し、若年層の募金への関心を高めた。
- ④ スポーツチームと協働したオリジナル資材を作成し、試合会場での募金のお礼として贈呈した。
- ⑤ 本会のマスコットキャラクター「びわびよ」を使用したピンバッジや広報資材の作成、フェイスブック「赤い羽根ちば」での情報発信を行った。



### 7 交通機関等による広報の実施

- ① 県内の私鉄 (新京成電鉄・北総鉄道・東葉高速鉄道、千葉都市モノレール) の車内及び駅構内に運動期間中、ポスターを掲出した。

- ② JR京葉線海浜幕張駅前の大型ビジョンにて、中央共同募金会制作のテレビ用放映素材を運動期間中放送した。
- ③ 県内公立図書館へ運動期間中、ポスター・壁新聞を掲出した。

## 8 助成先による広報の強化

- ① 助成先からの感謝の気持ち「ありがとうメッセージ」を「はねっと」や各種広報資材に掲載して紹介した。また、助成事業・助成物品・助成先発行広報紙、助成先ホームページ等、あらゆる機会を通じて募金への感謝の気持ちを住民に伝えるように努めた。
- ② 共同募金の7割を助成されている市町村社会福祉協議会(市町村社協)では、助成事業が住民の寄付により実施していることを明示し、住民の募金への理解・関心を高めるよう努めた。また、市町村社協に交付した地域福祉事業用車両に「赤い羽根マーク」等を掲示し、地域福祉事業活動に積極的に使用した。
- ③ 千葉県社会福祉協議会(県社協)の広報誌「福祉ちば」に、赤い羽根共同募金会の募金や助成の情報を掲載した。

## III 助成

県民の理解と共感が得られる共同募金運動とするため、助成計画及び助成額の決定について配分委員会による審議を経て、理事会・評議員会において決定し、次のとおり助成を行った。

### 1 一般募金・広域助成

- ① 平成30年度一般募金・広域助成は、支会募金実績(広域分)、県共募募金実績等1億3,579万9,008円を福祉施設・福祉団体・NPO法人等の整備費や事業費等として助成決定した。
- ② 整備費は、福祉施設・県域にわたって活動する団体が整備する福祉車両・機器・備品等の購入費と新築・増築・改築及び修理等の費用の他、福祉施設が施設機能を活用して実施する地域福祉サービスに必要な整備費を助成対象とした。
- ③ 事業費は、県域にわたって活動する団体及び政令指定都市において活動する団体の事業に係る経費を助成対象とした。
- ④ 使途選択募金として、7テーマ(生活困窮者、子ども、子育て、高齢者、孤立・虐待・自殺防止、障害者、被災者・被災地)について活動する17団体に助成した。
- ⑤ 5月14日に千葉県社会福祉センターにおいて助成申請説明会を実施し、8団体が参加した。当日出席できない団体からの求めに応じて個別説明を行った。
- ⑥ 整備費助成(平成29年度分)、事業費(使途選択)助成、(平成29年度分)NHK歳末たすけあい助成(平成30年度分)を行った6施設の現地調査を実施した。

### 2 一般募金・地域助成

- ① 平成30年度一般募金から計2億8,527万8,832円を各市町村社協を通じ地域福

社事業費として助成した。

- ② 平成 27 年度から 5 カ年計画で県内 53 市町村社協へ地域福祉事業用車両を交付している。平成 30 年度は、9 市町（成田市、富津市、浦安市、印西市、富里市、大網白里市、酒々井町、栄町、御宿町、）へ交付した。（9 台、13,017,757 円）

### 3 市町村歳末たすけあい助成

県社協との共催で歳末たすけあい運動を実施し「平成 30 年度歳末たすけあい運動実施要項」に基づき、各市町村社協を通じ計 2 億 1,146 万 2,247 円を助成した。

### 4 NHK 歳末たすけあい助成

「平成 30 年度(第 68 回)NHK 歳末たすけあい実施要綱」に基づき、福祉団体・福祉施設への助成を通じ計 2,685 万 4,000 円を施設利用者のために助成した。

### 5 物品寄付による助成（再掲）

中央共同募金会を通じて受け入れた物品寄付（清涼飲料水（アサヒ飲料）シリアル（日本ケロッグ））、を寄付者の希望する業種種別等へ助成した。（寄付件数 3 件：寄付額・助成額 1,049,352 円相当／助成先 27 団体）

## IV 組織運営

### 1 会の運営

#### (1) 理事会

3 回開催し、上程議案の全てを可決した。

- ① 第 226 回理事会(平成 30 年 6 月 11 日)
- ・平成 29 年度事業報告の承認について
  - ・平成 29 年度会計決算の承認について
  - ・評議員選任・解任委員会の欠員委員の選任について
  - ・評議員選任候補者の推薦について
  - ・評議員選任・解任委員会の開催について
  - ・平成 30 年度定時評議員会の開催について

[報告事項]

- ・会長及び業務執行理事の職務執行状況報告
- ・平成 29 年度共同募金運動の最終結果について
- ・平成 29 年度全国共同募金実績（最終）について

- ② 第 227 回理事会(平成 30 年 7 月 20 日)

- ・副会長の選任について
- ・平成 30 年度共同募金目標額・助成計画書(案)について
- ・千葉県共同募金会顕彰規程に基づく平成 30 年度被顕彰者の決定について
- ・評議員選任・解任委員会の欠員委員の選任について



ひとり暮らしの高齢者へ昼食配布  
(市町村歳末事業)



NHK 歳末たすけあい



NHK 海外たすけあい



歳末たすけあい運動チラシ



- ・ 評議員選任候補者の推薦について
- ・ 評議員選任・解任委員会の招集について
- ・ 第 204 回評議員会の招集について
- ③ 第 228 回理事会(平成 31 年 3 月 11 日)
  - ・ 平成 30 年度共同募金実績額・助成(案)について
  - ・ 平成 30 年度資金収支補正予算(案)について
  - ・ 平成 31 年度事業計画(案)について
  - ・ 平成 31 年度資金収支予算(案)について
  - ・ 千葉県共同募金会役員等報酬等費用弁償規程(案)について
  - ・ 千葉県共同募金会定款の一部改正(案)について
  - ・ 千葉県共同募金会処務規定の一部改正(案)について
  - ・ 評議員選任候補者の推薦について
  - ・ 評議員選任・解任委員会の招集について
  - ・ 第 205 回評議員会の招集について
  - [報告事項]
    - ・ 千葉県共同募金会給与規程の一部改正について
    - ・ 会長及び業務執行理事の職務執行状況報告
    - ・ 一般競争入札による車両購入について
    - ・ 平成 30 年度社会福祉法人等指導監査の結果について



## (2) 監事監査

平成 30 年 5 月 30 日に定款第 11 条第 1 項の規定により監事監査を実施した。  
 [監査結果]事業内容及び会計決算は適法にして正確であった。

## (3) 評議員会

3 回開催し、上程議案の全てを可決した。

- ① 第 203 回評議員会(平成 30 年 6 月 29 日)
  - ・ 平成 29 年度事業報告の承認について
  - ・ 平成 29 年度会計決算の承認について
  - ・ 理事の選任について
  - ・ 配分委員の選任について
  - [報告事項]
    - ・ 平成 29 年度共同募金運動の最終結果について
    - ・ 平成 29 年度全国共同募金運動の最終結果について
- ② 第 204 回評議員会(平成 30 年 7 月 27 日)
  - ・ 平成 30 年度共同募金目標額・助成計画書(案)について
  - [報告事項]
    - ・ 「平成 30 年 7 月豪雨災害」義援金の募集について



- ③ 第 205 回評議員会(平成 31 年 3 月 20 日)
- ・平成 30 年度共同募金実績額・助成(案)について
  - ・平成 30 年度資金収支補正予算(案)について
  - ・平成 31 年度事業計画(案)について
  - ・平成 31 年度資金収支予算(案)について
  - ・千葉県共同募金会役員等報酬等費用弁償規程(案)について
  - ・千葉県共同募金会定款の一部改正(案)について
  - ・千葉県共同募金会処務規定の一部改正(案)について
- [報告事項]
- ・一般競争入札による車両購入について
  - ・平成 30 年度社会福祉法人等指導監査の結果について

(4) 評議員選任・解任委員会

4 回開催し、上程議案の全てを可決した。

- ① 第 1 回 平成 30 年 4 月 12 日      ② 第 2 回 同年 6 月 13 日  
③ 第 3 回 同年 7 月 23 日              ④ 第 4 回 平成 31 年 3 月 11 日

(5) 配分委員会

4 回開催し、上程議案の全てを可決した。

- ① 第 1 回配分委員会(平成 30 年 7 月 2 日)
- ・平成 30 年度共同募金目標額・助成計画書(案)について
- ② 第 2 回配分委員会(平成 30 年 8 月 17 日) 書面決裁
- ・平成 30 年 7 月豪雨災害に係る災害等準備金の運用及び拠出について
- ③ 第 3 回配分委員会(平成 30 年 12 月 14 日)
- ・平成 30 年度NHK歳末たすけあい助成(案)について
  - ・平成 30 年度赤い羽根共同募金助成(案)について
  - ・平成 30 年度市町村社会福祉協議会地域福祉事業用車両の購入について
- ④ 第 4 回配分委員会(平成 31 年 3 月 4 日)
- ・平成 30 年度共同募金実績額・助成(案)について

## 2 支会との連絡調整

(1) 支会事務局長会議

2 回開催し、下記の議題について報告・説明し、意見交換を行った。

- ① 第 1 回支会事務局長会議(平成 30 年 7 月 9 日)
- ・平成 30 年度共同募金目標額・助成計画書(案)について
  - ・平成 30 年度共同募金運動に対する顕彰について
  - ・平成 30 年度支会別訪問調査及びブロック別会議について
- [研修]
- ・「共同募金の進む方向、委員会移行について支会から変わること」

講師：中央共同募金会 事務局長 阿部陽一郎 氏

② 第2回支会事務局長会議(平成31年3月8日)

- ・平成30年度共同募金実績額・助成(案)について
- ・平成31年度事業計画(案)について

[報告事項]

- ・市町村共同募金委員会をめぐる状況について
- ・市町村社会福祉協議会地域福祉事業用車両の助成について
- ・平成30年度支会訪問の結果について
- ・ブロック別会議の実施結果について



(2) 支会事務担当者向け会議

3回開催し、下記の議題について報告・説明し、意見交換等を行った。

① 第1回支会事務担当者会議(平成30年4月26日)

- ・平成29年度共同募金実績と助成について
- ・平成30年度事業計画について
- ・共同募金委員会設置に関する調査結果について
- ・戸別募金の再生・再構築の検討結果について
- ・平成30年度支会訪問調査及びブロック別会議について

[新任研修]

- ・共同募金について ・はねっと操作について

② 講演(平成30年7月11日) 参加者18名

- ・世界の共同募金ネットワークとの情報交換
- ・ユナイテッドウェイについて:ユナイテッドウェイ「ワールドワイド」永井 裕美子 氏
- ・企業との関係構築とコミュニケーション:

ユナイテッドウェイ「ワールドワイド」ビル・キッツン 氏

- ・韓国の事例及び手法の紹介:韓国共同募金会 ヤン ホヨン 氏

③ 第2回支会事務担当者会議(平成30年8月21日)

- ・平成30年度共同募金運動について
- ・募金資材について
- ・ホームページリニューアルについて

[報告事項]

- ・平成30年7月豪雨災害について
- ・市町村社協に対する地域福祉事業用車両の交付について
- ・支会広報の事例共有
- ・研修:「伝える、共感を得るためには」

講師: ユナイテッドウェイ・ワールドワイド 永井 裕美子 氏

### (3) 支会ブロック別会議

県内 7 ブロックで各支会の募金の現状・課題等について参加者が情報交換を行い、支会担当者相互の連携を促進した。(平成 30 年 12 月 18 日～31 年 2 月 13 日)

### (4) 市町村支会訪問調査

県内 18 支会を訪問し下記の内容について調査、意見交換を行った。

(平成 30 年 11 月 16 日～平成 31 年 1 月 23 日)

- ・ 共同募金会支会状況について(構成人数、広報、委員会移行、助成、資材等)
- ・ 平成 29 年度募金活動の自己評価について
- ・ その他

## 3 事務局

### (1) 中央共同募金会の研修等へ参加

- ・ 都道府県共同募金会常務理事・事務局長会議

(平成 30 年 7 月 4 日～5 日、平成 31 年 2 月 11 日)

- ・ 都道府県共同募金会職員研修(平成 30 年 4 月 12 日～13 日)

### (2) 他都県共同募金会との研究協議会へ参加

- ・ 関東ブロック共同募金会職員研究協議会(平成 30 年 6 月 8 日)

- ・ 首都圏共同募金会職員研究協議会(平成 30 年 6 月 18 日)

## V 顕彰の実施

### 1 共同募金運動に対する顕彰

本会顕彰規程ならびに関係機関の顕彰規程に基づき、募金運動に功績のあった個人・団体・地区を顕彰した。共同募金関係者は千葉県社会福祉大会(平成 30 年 11 月 9 日、千葉県文化会館大ホール)において表彰を行い、特に秀でた者に対しては全国社会福祉大会(平成 30 年 11 月 22 日、メルパルクホール)において表彰がなされた。平成 30 年度の大口寄付者は、県共募または各支会から県共募会長感謝状の贈呈をし、特に秀でた者に対しては関係機関へ推薦し感謝状の伝達を行った。



千葉県社会福祉大会

(1) 紺綬褒章	大口寄付者	1 件	3 年間で寄付が 500 万円以上の個人
(2) 厚生労働大臣表彰状	奉仕功労者	1 件	奉仕者として特に顕著な功績がある個人
	奉仕功労団体	1 件	奉仕者として特に顕著な功績がある団体 ・ 野田市赤十字奉仕団(野田市)
(3) 中央共同募金会 会長感謝楯	大口寄付者	1 件	寄付が 50 万円以上の個人
		1 件	寄付が 100 万円以上の団体 ・ 株式会社オアシスグループ(君津市)

(4) 中央共同募金会 会長表彰状	奉仕功労者	3 件	奉仕者として顕著な功績がある個人
(5) 中央共同募金会 会長感謝状	大口寄付者	2 件	3 年間で寄付が 20 万円以上の個人
		8 件	3 年間で寄付が 60 万円以上の団体 ・ちば興銀「小さな親切」運動推進本部 (千葉市) ・千葉トヨタ自動車株式会社(千葉市) ・生命保険協会千葉県協会(千葉市) 他
(6) 千葉県知事表彰状	運動奉仕者	1 件	20 年以上奉仕者として顕著な功績がある個人
		1 件	20 年以上奉仕者として顕著な功績がある団体 ・君津市上総地区民生委員児童委員協議会 (君津市)
(7) 千葉県知事感謝状	大口寄付者	1 件	寄付が 20 万円以上の個人
		1 件	寄付が 60 万円以上の団体 ・野田市関宿商工会(野田市)
(7) 千葉県共同募金会 会長表彰状	奉仕功労者	31 件	10 年以上奉仕者として功績がある個人
	従事功労者	3 件	10 年以上運動推進に従事して功績がある個人
	優良地区・団体	123 件	5 年以上募金活動が優秀な地区・団体
	優良支会	2 件	募金活動が最も優秀な支会
(8) 千葉県共同募金会 会長感謝状	大口寄付者	9 件	寄付が 3 万円以上の個人または 5 年継続し寄付が 10 万円以上の個人
		42 件	10 万円以上の団体または 5 年継続し寄付が 30 万円以上の団体
	奉仕功労者	24 件	5 年以上奉仕者として功績がある個人
	優良地区・団体	26 件	募金活動が優秀な地区・団体

## VI 共同募金以外の助成金

### 1 共同募金以外の寄付金の受け入れ

- ① 中央共同募金会を通じて受け入れた寄付金を、寄付者の希望する業種種別等へ助成した。(寄付件数 2 件: 寄付額 673,800 円相当/助成先 2 団体: 助成額 651,400 円相当/受託費 22,400 円)
- ② 松峰工業株式会社より受け入れた寄付金を、県内の児童養護施設へ助成した。(寄付額 1,200,000 円/助成先 18 団体/助成額 1,164,000 円/受託費 36,000 円)

## 2 「村上しずエ福祉基金」による助成

在宅身体障害者及び県内からのハンセン病療養所入所者への見舞金品贈呈事業として、助成を実施した。(281名・計574,296円)

## 3 車両競技公益資金記念財団への協力

中央共同募金会と連携して推薦(9件)し、助成が決定(6件 2,325,100円)された。また、保育所の現状回復助成について、申請を募った。

## 4 公益財団法人原田積善会への協力

同財団からの依頼を受けて、東京都共募を通じて助成の要望について推薦(1件)し、助成が決定(300,000円)された。

# Ⅶ 災害時の被災者支援

## 1 災害見舞金の贈呈

災害見舞金規程に基づいて、県内で発生した災害の被災者延べ235件(全焼138件・半焼47件・全壊1件・半壊4件・床上浸水3件・死亡36件・重傷6件)に対し、計1,921,000円の見舞金を贈った。

## 2 災害たすけあい義援金の募集

熊本地震災害義援金等に加えて、平成30年度に全国で発生した次に掲げる大規模災害について、支会の協力を得て義援金を募集し、被災県の各共同募金会に送金した。

募集团体	義援金の名称	取扱金額(円)
熊本県共同募金会	平成28年熊本地震義援金	136,437
福岡県共同募金会	平成29年7月5日からの大雨災害義援金 (福岡県)	1,761
大阪府共同募金会	平成30年大阪府北部地震義援金	127,612
滋賀県共同募金会	平成30年米原市竜巻災害義援金	6,486
中央共同募金会	平成30年7月豪雨災害義援金(中央)	20,227,272
岐阜県共同募金会	平成30年7月岐阜県豪雨災害義援金	10,000
岡山県共同募金会	平成30年7月豪雨岡山県災害義援金	458,988
愛媛県共同募金会	愛媛県豪雨災害義援金	30,000
広島県共同募金会	平成30年7月広島県豪雨災害義援金	371,883
福岡県共同募金会	平成30年7月福岡県豪雨災害義援金	10,000
北海道共同募金会	平成30年北海道胆振東部地震災害義援金	2,996,555
合計		24,376,994

※本会を通じて義援金を各県に送金したものの集計。(平成31年3月31日現在)

### 3 準備金制度

社会福祉法第 118 条及び本会災害支援制度運営要綱に基づき、大規模災害時の災害ボランティア支援等に備え準備金を積み立てた。

#### ① 準備金の積み立て

平成 30 年度募金総額の 3%、19,154,000 円を準備金として積み立てた。

(3 年間の総額は 59,485,000 円)

#### ② 準備金の取崩

平成 27 年度に積み立てた準備金を取崩し、平成 30 年 7 月豪雨災害に対し中央共同募金会を通じて 16,630,000 円を拠出した。

### 4 使途選択募金「被災者・被災地支援」の実施

昨年度に引続き、使途選択募金にて東日本大震災等の被災者支援事業等に助成を行った。(計 3 団体・871,000 円)

